

関東甲信越地区例会のお知らせ

拝啓 炎暑の候、会員の皆様には益々ご清栄のことと思います。

本年2回目の地区研修は下記内容にて行われます。臨床にて第一線で活躍されてる先生のお話です！是非お聞きになることをお勧めします。また、(株)モリタからライカのマイクروسコープなどの商品説明なども昼や終了後企画しております。他地区からや会員スタッフと一緒に多数のご参加をお待ちしております。よろしく願いいたします。

敬具

2016/07/31 (日) 日先研 浜松町研修所

■10:00~12:00 内部講師：渥美美穂子先生



平成元年 神奈川歯科大学卒業

平成20年神奈川歯科大学附属病院インプラント科 歯科インプラント部門長

平成25年神奈川歯科大学附属病院 インプラント科科長

平成26年 MAデンタルクリニック設立

所属学会

日本口腔インプラント学会専門医、日本補綴歯科学会専門医・指導医、日本歯周病学会

American Academy of Periodontology

内容：インプラントに関するエビデンスわかっていること・これからのこと

抄録：インプラント治療は高い成功率と長期的な予後が期待でき、今日ではインプラントを欠損補綴の支台として用いることが、補綴法の革新的な治療法となったと考えられている。とくに、近年では10年以上の治療成績についての報告も散見されるようになり、これまで同様、きわめて良好な治療成績を呈しているものが多い。しかし、適切なエビデンスもなしに、インプラント支台の方が天然歯よりも優れていると考えるような臨床家や、従来の修復法に比べてインプラントの方がよりよく、簡便にかつ低リスクで治療できて、

ベストな補綴法であると思ひこんでいる耳学問の臨床家も現れてきて、それに対して危機感を感じずにはいられない。

インプラント補綴に関するエビデンスは膨大にあり、アップデートのスピードも非常に早いので、常に情報をフォローしていくとともに、知識を整理していないと、どこが古典的でどこからが新しい情報なのかの峻別も難しい。多くの情報の中から現在必要とされる情報を取り出す作業は意外と大変である。

そこで、今回インプラント治療に関するエビデンスのうち、審美領域のインプラント補綴と臼歯部領域のインプラント補綴さらにはインプラント補綴の偶発症について、エビデンスの整理をしてみたい。たとえば、インプラントの治療成績のように確立されていることと、臼歯部へのジルコニアアバットメント適用のように応用されて日が浅く、エビデンスレベルとしては低いことなど、知識の整理を行ってみたいと思います。それによって、明日の臨床の現場で、トレンドに流されることなく、適切な治療法を、自信をもって患者様に提示できる助けになればと考えております。

■13:00～16:00 外部講師：石井宏先生



学 歴 平成5年 神奈川歯科大学卒業
 平成18年 ペンシルバニア大学歯内療法学科大学院卒業

職歴 平成8年 都内歯科診療所開設
 平成19年 港区新橋にて歯内療法専門医院開設
 現在に至る

ペンシルバニア大学非常勤講師
神奈川歯科大学非常勤講師

所属学会 American Association of Endodontists specialist member
 日本歯内療法学会 専門医

スタディーグループ

平成 19 年～ 石井歯内療法研修会主宰
平成 21 年～ Penn Endo Study Club In Japan 主宰
平成 21 年～ 藤本研修会 歯内療法学 講師

書籍

世界基準の臨床歯内療法

歯牙破折の分類・診査・診断・マネジメント

内容：「患者利益のための意思決定」

抄録：歯内療法の主たる目的は「根尖性歯周炎の予防と治療」です。そして、患者の利益を優先するならば、患者が求めている「疾病の予防と治癒」を達成することが最重要課題となります。その方法論として、根管充填後のエックス線を美しく仕上げること、歯科用顕微鏡や Ni-Ti ロータリーインストゥルメント、MTA セメントを使用することなどが推奨されていますが、これらは治療のための枝葉であり、治療の結果を保障するものではありません。ややもすれば、選択した治療方法が患者の不利益になっていることさえあるのではないのでしょうか。人々の価値観が多様化している現在、術者の考える最良・最善が患者のそれと一致しているとは限りません。我々医療者は、現在の医療で可能なことと、その限界について患者の理解と意思決定を助けるための情報提供ができなければいけません。

本講演では我々の行う治療行為が真の患者利益につながるための意思決定について考察いたします。

■16:30～ 株式会社モリタ ライカ M320-D の商品説明と DEMO

以上です。申し込みは事務所へお名前と人数を！！